

「Honda自転車シミュレーター」の特長

【ハード】

- ・コンパクト設計(全長:2,270mm×高さ:1,400mm×幅:990mm、重量:88kg)
- ・左右確認用画面と後方確認用モニターを搭載
- ・自転車を押して歩く動作に対応する「歩行センサー」を搭載



キーボード/マウス/セッティング用工具は、同梱(袋入り)

搬出入時の移動が簡単:分解・組み立てが容易にできます。

【ソフト】

- ・各年代に合わせたソフトを用意し、「学校へ行く」「スーパーへ買い物に行く」「塾へ行く」「商店街へ行く」等、コースを選んで危険を体験することが可能
- ・混合交通の走行における法規やマナーを学ぶコースを用意
- ・体験後、上下左右さまざまな視点からの走行軌跡を再生し、運転状況と評価を画面に表示

【危険体験コース】



【走行画面】



【再生画面】

【法規(ルール)やマナーを学ぶコース】



走行中問題が出ます
(○×で解答)



アドバイス例

「Honda自転車シミュレーター」の活用例

自転車シミュレーターの開発に際して、さまざまな交通安全イベント、Honda四輪版社や学校などでできるだけ多くの方々に体験頂くことにより効果的な教育手法についても検証してまいりました。

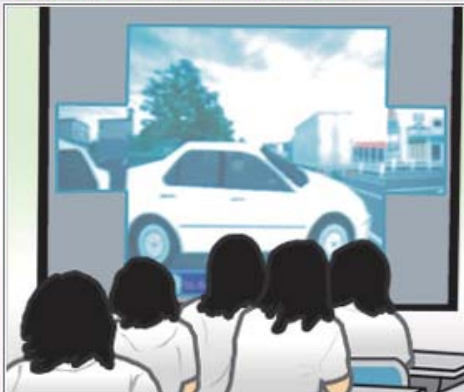
そうした検証結果をもとに、考案された教育手法のイメージをいくつかご紹介します。

①親子で学習しているイメージ



子供の体験の様子を見守ってもらい、親がアドバイス。親自らがアドバイスすることで、子供の安全意識は高まります。

②授業や研修での活用イメージ



プロジェクターを使用しスクリーンで同じ場面を参加者全員で確認します。確認終了後、ディスカッションを行うことで、こんなところにも危険が潜んでいたのか・・・と自分が「気づかなかった」危険を感じるすることができます。

③個人で学習しているイメージ



従来のシミュレーター教育は指導者がいけいど実施できませんでしたが、個人でも学習できます。体験後、上下左右さまざまな視点からの走行軌跡を再生でき、運転状況と評価を画面に表示するので、体験者自身だけで学習することができます。